

2018年3月29日

一般社団法人GOLD日本委員会

2018年度*事業計画書

(*2018年4月1日～2019年3月31日)

1. 認知度把握調査事業

1-1. COPD認知度把握調査

目的：健康日本21（第二次）の指標として取り上げられたGOLD日本委員会の調査と同じ方法論で、認知度の推移を調べる。

実施時期：2018年12月上旬

内容：全国10,000人の成人男女を対象としたインターネット調査

2. 啓発事業

2-1. ホームページによる情報発信

- ・年間を通じてホームページ(www.gold-jac.jp)でCOPDの疾患情報、統計情報等を発信し、また、各地で行われる啓発活動の情報の発信を行う。
- ・啓発活動の情報の発信を充実させるため、啓発活動の登録を促進する。
- ・新しいGOLDガイドラインの改訂のポイントに関するコンテンツを追加する（日本語版）。

2-2. 日本 COPD サミットの開催

内容：2014年度から世界COPDデー前後に継続的に開催しているメディアフォーラム「日本COPDサミット」を、一般社団法人日本呼吸器学会、公益財団法人日本呼吸器財団とともに開催する。

目的：健康日本21（第二次）に「COPD」が掲げられ、啓発活動の活性化に期待が持たれる中、各団体が協力することでよりインパクトある啓発活動に繋げ、各メディア・自治体・医療関係者・一般市民への情報発信を高めること。

対象：医療関係者（医師、コメディカル、健診団体、自治体健康政策担当者）、一般、メディア関係者（全国紙／メディカル専門紙誌／TV等）

実施時期：2018年11月

2-3. 関連学会へのブース出展

目的：医療従事者に対する当法人の活動の啓発および正会員の募集。

出展先：①第58回日本呼吸器学会学術講演会

会場：大阪府・大阪国際会議場/リーガロイヤルホテル大阪

開催期間：2018年4月27日～29日

② 第28回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会

会 場： 千葉県・幕張メッセ（国際会議場・国際展示場）

開催期間： 2018年11月9日～10日

内 容： ブース出展（GOLD日本委員会の活動紹介）

3. 啓発支援事業

3-1. GOLD 日本委員会オリジナル啓発資材等の案内・提供

概 要： 啓発活動のノウハウやGOLD日本委員会オリジナル啓発資材等の案内・提供。

目 的： 健康日本21（第二次）の指針にしたがって啓発活動に取り組む自治体や団体を支援する。

実施時期： 2018年度

- 内 容： ① COPD講習会参加者（行政健康政策担当者など）、2012年度に実施した「COPD啓発活動についてのアンケート」に回答し、メールアドレスを登録した自治体担当者（133名）および自治体健康政策担当者向けCOPD講習会でメールアドレスを登録した受講者（40名）に対し、支援のメールマガジンを配信する。
- ② 啓発資材を希望する自治体にはホームページ上で啓発活動の登録を行うことを条件に、以下の啓発資材を提供する。自治体以外にも医療機関、健康保険組合、患者団体などに限り資材提供する。

提供資材	在庫数量	実費	送料
小冊子	4,740部	10円 / 冊	実費
ピンバッジ	3,216個	100円 / 個	実費
ポスター	PDF	無償	—
パワーポイント	PPTデータ	無償	—
応援団ステッカー*	360枚	5シート無償	実費
COPD-PS**	222冊	無償	実費

*応援団ステッカーは一般社団法人設立以前に作成したものを提供する。

**COPD-PSはディスカバリーCOPD研究会提供。

4. 調査研究事業

4-1. COPD早期診断につながる疫学研究プロジェクトの実施

概 要： 当法人の事業目的の一つである「COPDの併存症に関する疫学調査」に関連する多施設の研究を促進する。

実施時期： 2018年度

テ ー マ： 「睡眠呼吸障害（SDB）とCOPD —疫学と病態に関する後ろ向き研究」 継続

実施施設： 順天堂大学、東京大学、東北大学、日本医科大学呼吸ケアクリニック

5.その他（特別事業の検討） ※本予算以外で費用を捻出

5-1. ACジャパン支援キャンペーン申請

申請内容：「支援キャンペーン」

公共福祉活動をする非営利団体の広告活動を支援する

- ・国民の生命、健康、安全に関わる問題
- ・日本の将来に深刻な事態を引き起こす問題
- ・海外の人道的問題

申請期限：2018年7月1日～31日

支援期間：原則2年間／次キャンペーン年度：2019年度

負担金（キャンペーン参加料）：1,500万～2,000万（制作費）／年間

以上